

公共施設の再編に向けて ～子や孫の世代へ負担を先送りしないために～



公共施設の役割

- 市民の暮らしを支え、様々な行政サービスを提供する場
- 地域におけるコミュニティ活動の拠点



公共施設が抱える課題

- 多くの公共施設で老朽化が深刻化しており、改修や更新に多額の財政負担が予測される。
- 市の収入（財源）は、人口減少に伴う税減等により、減少が見込まれる。

→ 今後は、公共施設を新築したり、大規模改修したり、これまでどおり維持管理していくという当たり前のことが困難に!!

朝来市だけではない
全国的な問題！

国を挙げての取組みが
進められています。

約40年前

人口4万人

公園や体育館
があればいいな

大きなホールが
欲しいなあ

学校が新しく
なったらうれし
いな



現在

人口3万人

老朽化



- ・ 人口は減少しているが、公共施設の数ほぼ変わっていない。
- ・ 合併などによって、市内に機能や役割が同じ施設が複数ある。
- ・ 老朽化が進んでおり、施設の修繕や建替えに多額の費用がかかる。

公共施設の老朽化

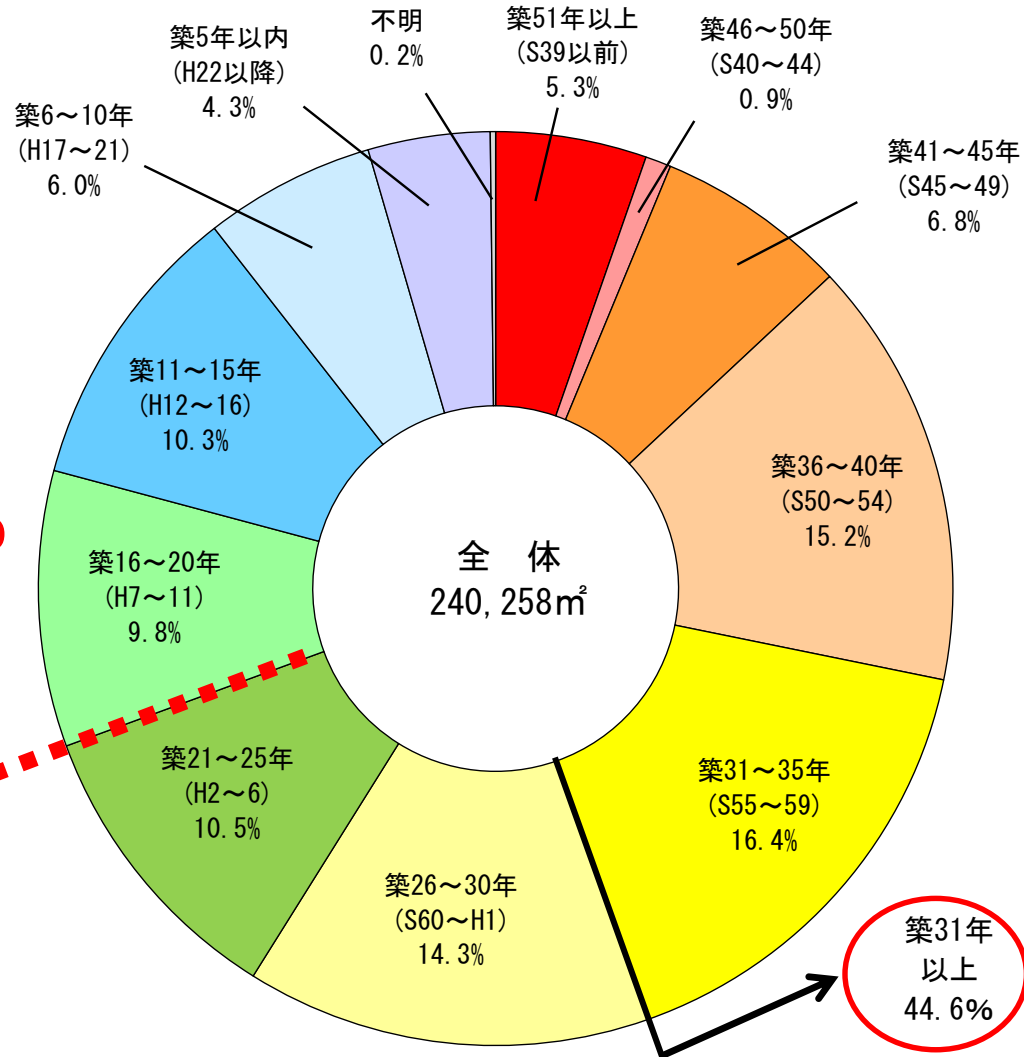
築後年数別の延床面積構成比 (H28.3)

人口減少・少子高齢化が進む中、全国の自治体で、老朽化してきている公共施設をどのように維持しながら、市民サービスを提供していくかということが問題となっています。

築31年以上の施設は44.6%

10年後には

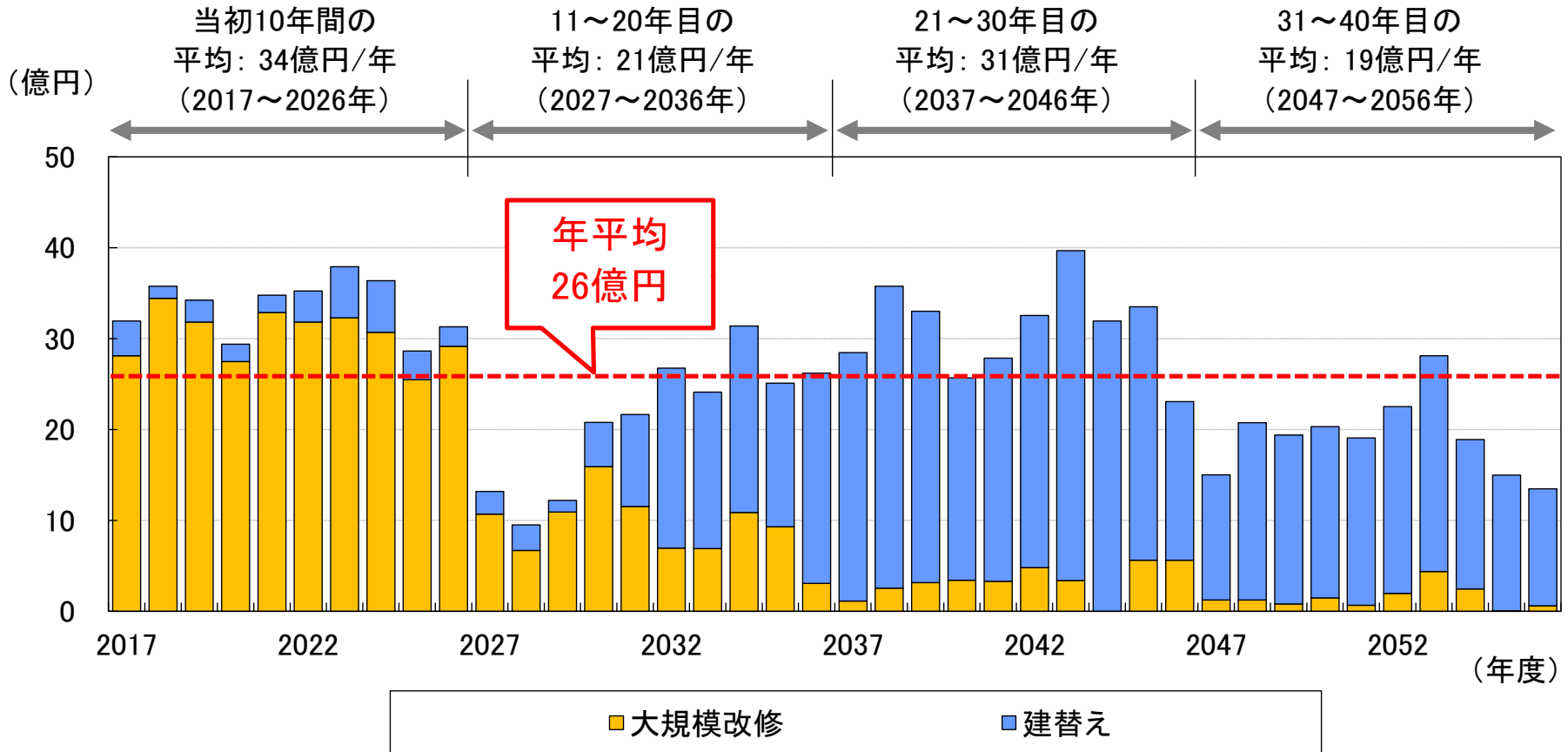
69.4%



将来必要な更新費用を試算 してみると……

年平均26億円が必要

現在ある施設をそのまま維持し、今と同じ規模で建替えをする費用を試算すると、今後40年間で総額約1,050億円、年平均で約26億円が必要になります。



厳しい財政状況

公共施設を将来にわたって維持していく場合、
今後40年間にかかる費用は年平均26億円
(試算結果)

今後、公共施設の維持に充当できる
投資額は年平均12億円
(財政見通し)

14億円不足!!

全ての公共施設を今のまま保有し続けると、これから先、本当に必要な行政サービスを維持していくことが困難になります。



人口規模や財政規模に見合った施設量となるよう再配置（見直し）をしていく必要があります。

<市民アンケートの結果>

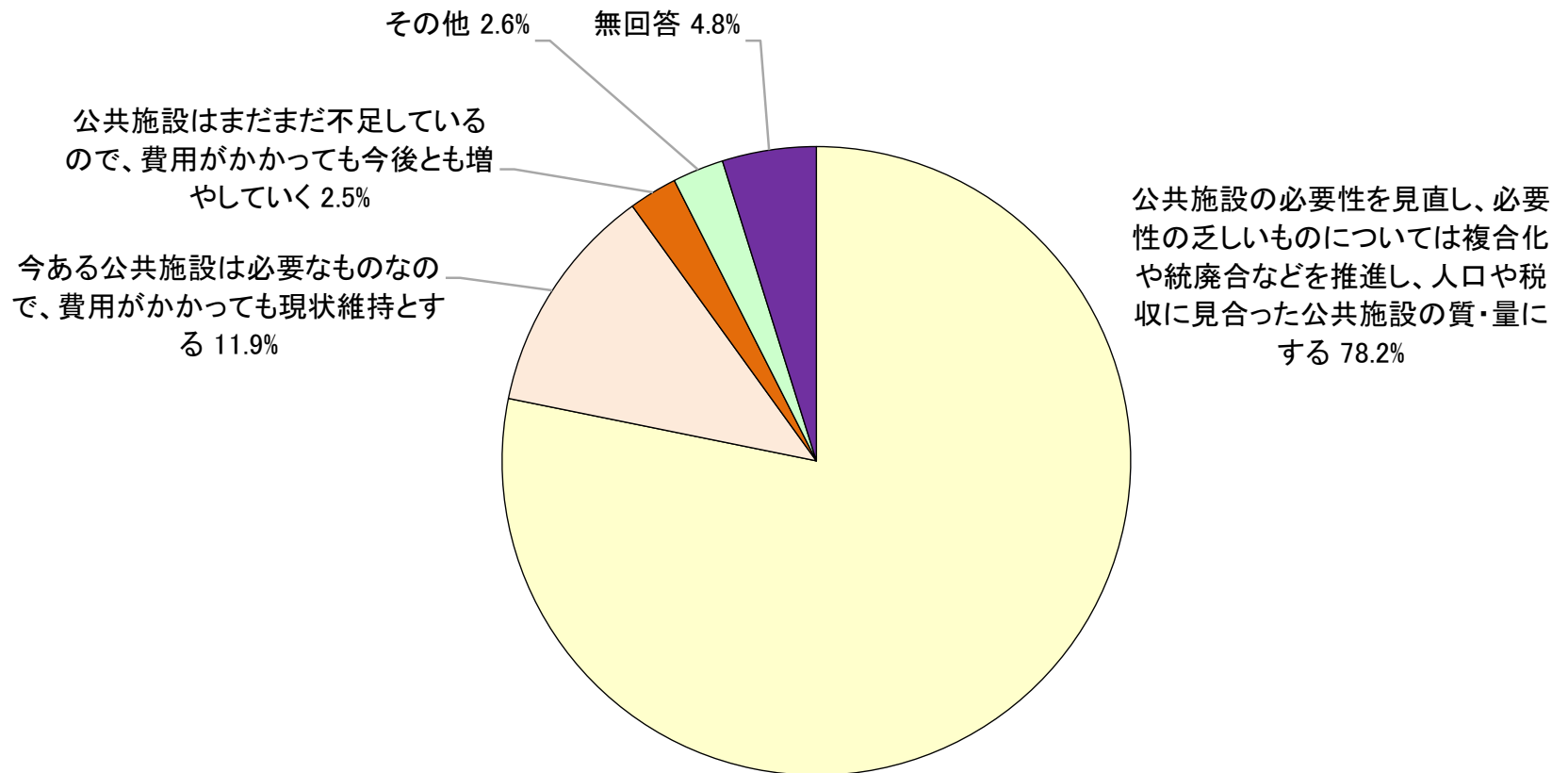
過去1年間、すべての公共施設で
「年に数回程度」
「利用していない」

8割以上

平成27年6月に実施した公共施設に関する市民アンケート調査によれば、過去1年間、すべての公共施設で「年に数回程度」または「利用していない」との回答が8割以上を占め、頻繁に利用している人は限られています。

市民アンケートの結果

■ 今後の公共施設の整備のあり方について



- ・ 必要性の乏しい施設は統廃合や複合化を推進 : 78.2%
- ・ 現状維持 : 11.9%

公共施設再編に向けた取組み

公共施設再編は全国的な課題であり、国（内閣府、国交省、文科省等）は、地方公共団体に対し、以下の計画を策定することを指示。

(1) 公共施設等総合管理計画（平成29年度策定）

- 地方公共団体が所有施設等の現状や施設全体の管理に関する基本的な方針を定めるもの（期間：10年間）。

(2) 個別施設計画（令和2年度末までに策定）

- 公共施設等総合管理計画に基づき、地方公共団体が個別施設ごとの具体の対応方針を定める計画として、点検・診断によって得られた個別施設の状態や維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策の内容や実施時期、対策費用を定めるもの（期間：10年間）。

公共施設再編に向けた視点

公共施設再編に向けた、私たちの「視点」

① 安全性

- 耐震基準を満たしているか
- 老朽化はどこまで進んでいるか
- バリアフリー化を実施しているか
- LED化など環境対策は行っているか

公共施設再編に向けた視点

公共施設再編に向けた、私たちの「視点」

②必要性

- どのような事業が行われているか
- 設置目的に即した使用か
- この施設でなければできないのか
- 市が関与する必要があるのか

公共施設再編に向けた視点

公共施設再編に向けた、私たちの「視点」

③有効性

- 稼働状況はどうか
- 類似施設が近くにないか
- 幅広い層に利用されている施設か

公共施設再編に向けた視点

公共施設再編に向けた、私たちの「視点」

④ 効率性

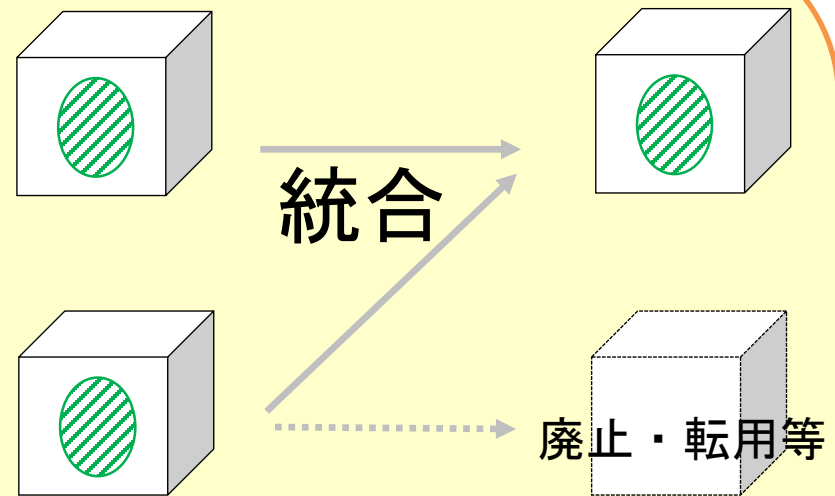
- 現在の管理運営方法は適切か
- 使用料(受益者負担)は適正か
- コスト削減の余地はあるか

公共施設再編の手法（例）

市が直営で施設を保有する必要がある場合

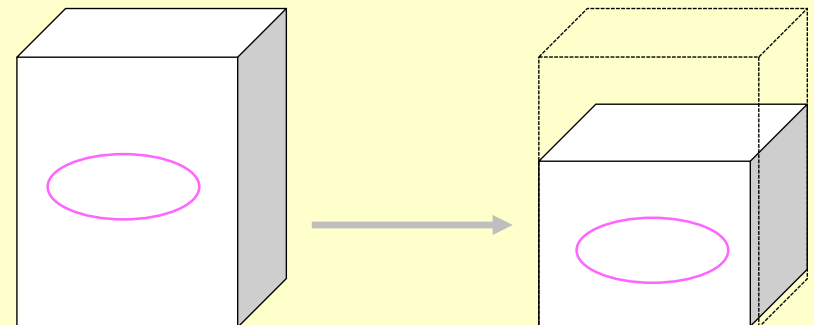
○統合

・設置目的が同じで同一機能をもつ複数の施設を、利用状況や近接性等を考慮して一つにする。



○減築

・大規模修繕や建替え時に、規模（延床面積）を縮小する。

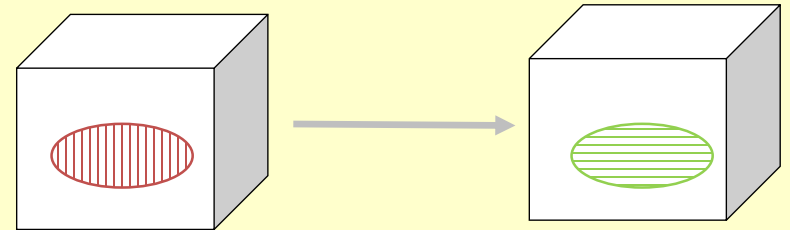


公共施設再編の手法（例）

市が直営で施設を保有する必要がある場合

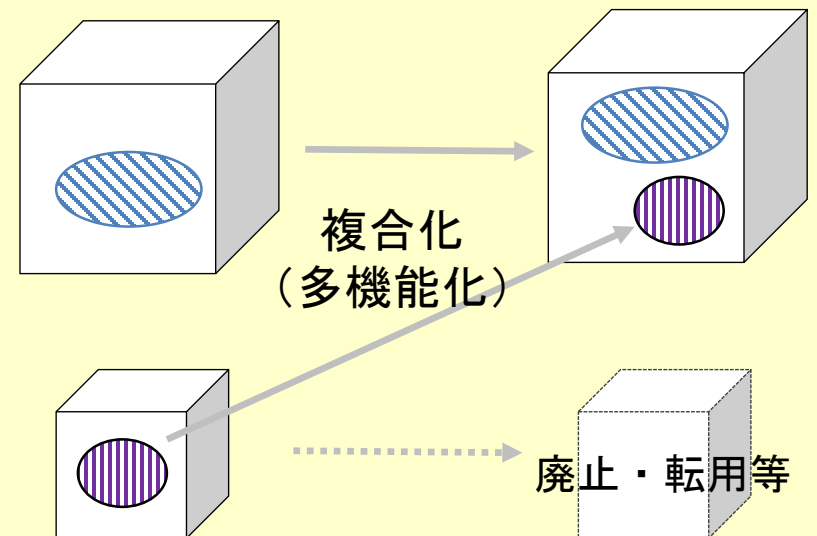
○転用

・設置目的とは異なる機能をもつ施設に変更する。



○複合化（多機能化）

・設置目的が異なる施設を、同一の建物内で複合的に利用する。



○統合の事例 市民プール（エスポワ・くじら）



エスポワ

1988年に旧和田山町において整備。公認のコースを有するプール。スイミングスクールの活動が活発。



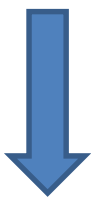
くじら

2005年に旧朝来町において整備。公認のコースはないが、市民の幅広い世代の利用、特に高齢者にも使いやすい設計。

○統合の事例 市民プール（エスポワ・くじら）

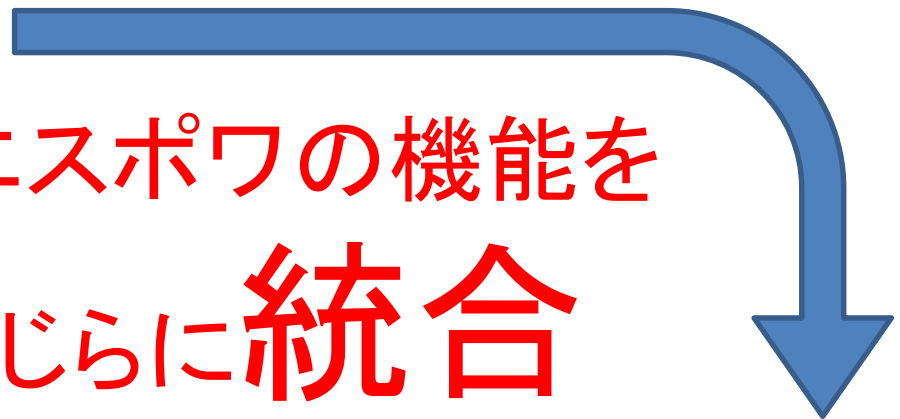


エスポワ



改修工事を実施するにあたり調査したところ、鉄骨部分の腐食が予想を上回って進行していることがわかり、改修工事を断念。

エスポワの機能を
くじらに**統合**



くじら

○転用の事例 いろいろハウス（朝来市神子畑）



高齢者が共同生活しながら生活支援や介護サービスを受けられる保健福祉施設として2001年に整備されたが、現在は災害時に避難所として使われる以外は主だって使用されていない。

○転用の事例

いろいろハウス（朝来市神子畑）

○地域の課題

日本遺産の認定以降、
増大する観光客を
受け入れる拠点が無い。



転用

●新たな機能へ「転用」
観光案内拠点施設（R1年整備）
（観光ガイドの拠点施設として）

※災害時の避難所機能は維持

○複合化の事例 朝来市山東庁舎



合併時は、朝来市の議会機能や社会福祉協議会の本庁機能があったが、それぞれ移転したため2・3階部分が未利用の状態になっている。

一方で、山東生涯学習センターの老朽化が著しく進行している。



山東生涯学習センター

○複合化の事例 朝来市山東庁舎



現有機能

- ・行政事務所機能
(山東支所・上下水道課)
- ・老人福祉センター機能
- ・学童クラブ機能

現有機能

- ・生涯学習センター機能
- ・子育て支援センター機能
- ・梁瀬地域自治協議会事務局機能



山東生涯学習センター

○複合化の事例 朝来市山東庁舎

●多機能を目指し「複合化」

山東地域における

- ・多世代交流の拠点
- ・活性化の拠点



現有機能

- ・行政事務所機能
(山東支所・上下水道課)
- ・老人福祉センター機能
- ・学童クラブ機能

山東生涯学習センターの 機能に移転

(2~3階の
未利用空間へ)

- ・生涯学習センター機能
- ・子育て支援センター機能
- ・梁瀬地域自治協議会事務局



移
転



子や孫の世代に負担を先送りしないために

今まであった施設だから、引き続きあった方が便利



ではなく

「本当に必要なもの（建物・機能）」を残していく

これからの公共施設を考えていく上では、「施設」の視点に加え、「機能」の視点からも考えることが重要です。

公共施設を再編していくには、市民の皆さんのご理解が必要不可欠です。

将来に負担をかけない公共施設のあり方を一緒に考えていきましょう。

ここで、みなさんにお聞きします。

**皆さんの身近な公共施設について、
その施設が今より有効に機能する
（便利になる）ための、**

「転用」（別の機能を与える）

「複合化」（違う機能をプラスする）

について、考えてみてください。

①

まずは身近な施設を
イメージ



②(転用)

有効活用するために
どんな機能に変える？

機能
(福祉)

CHANGE!

機能
(観光)



②(複合化)

有効活用するために
どんな機能を追加？



**皆さんの身近な公共施設について、
その施設が今より有効に機能する
（便利になる）ための、**

「転用」（別の機能を与える）

「複合化」（違う機能をプラスする）

について、考えてみてください。